

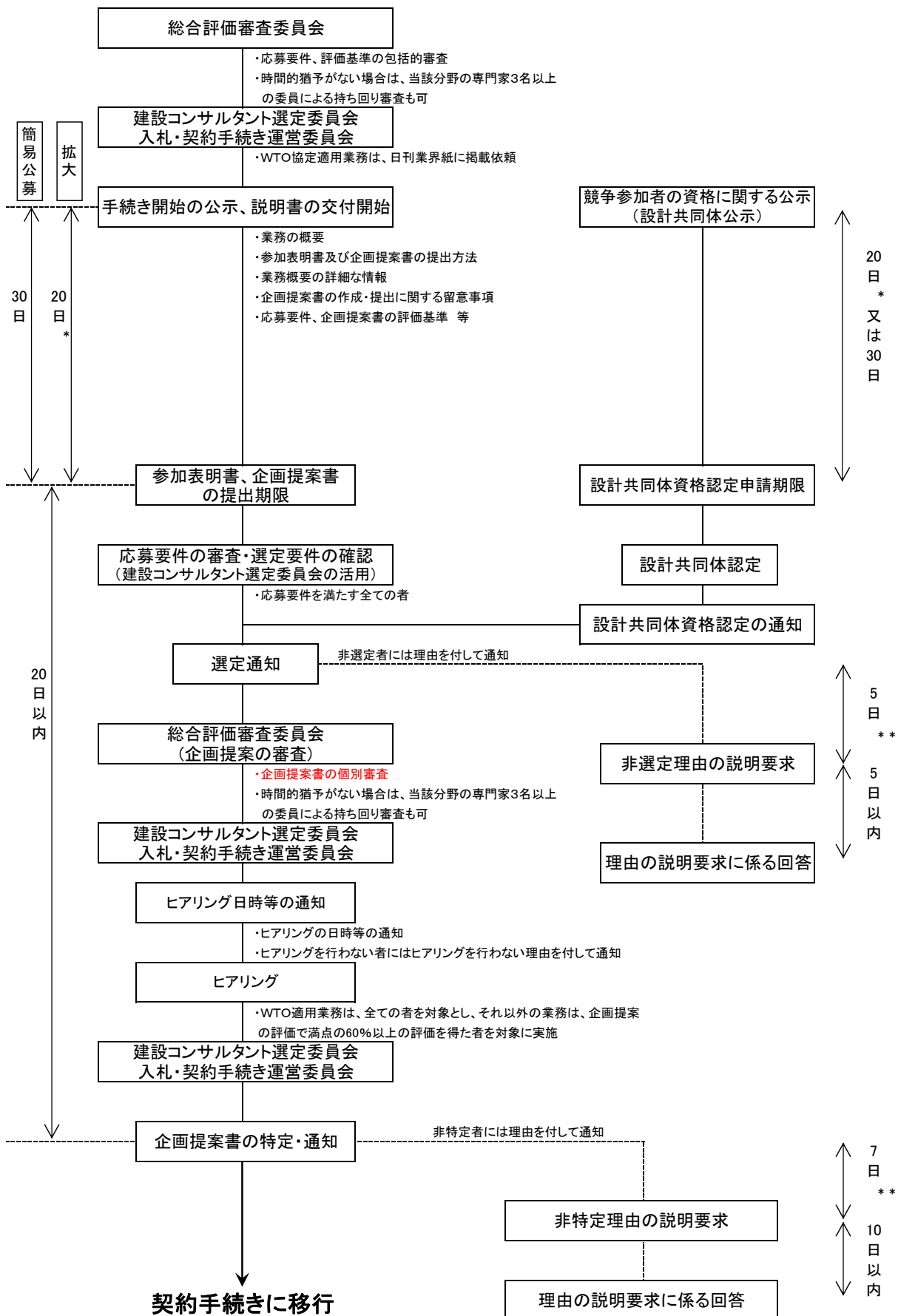
プロポーザル方式の場合の業務特性に応じた要件設定の標準的な項目

要件	業務特性	要件	応募要件	選定要件	特定要件	備考
基本事項（企業）	基本的要件	予決令及び会計令	◎	◎	—	・応募要件のみに設定する。 ・短縮型は日程設定に注意すること。
		中部地整一般競争資格	◎	◎	—	
		指名停止	◎	◎	—	
		業務実績	○	○	○	・過去10年の同種又は類似実績を基本とする。 ・小規模業務等については応募要件として設定しないこともできる。
		業務成績	—	—	—	・業務実績は、1件以上の実績を応募要件として設定するが、業務実績を評価するため、3件の実績の提出を求め、相対評価で評価を行う。
		企業信頼度（優良表彰）	—	—	△	・業務実績は、業務実績を具体的に明らかにするために業務の概要等を記載したレポートの提出を求めるとする。
		中立性・公平性	△	△	—	・中立性・公平性、守秘性は、応募要件のみに設定できる。
		守秘性	△	△	—	・特に守秘性の高い業務は、特定テーマを設定することができる。
		業務拠点	△	△	—	
		地域での活動経験	—	—	△	
基本事項（技術者）	管理技術者	企業信頼度（指名停止等の措置）	—	—	◎	
		実施体制（再委託、設計共同体）	◎	◎	—	・再委託等最低限必要な実施体制を要件とする。 ・緊急時における即応等、危機管理体制を求める必要がある業務は、特定テーマを設定することができる。
		その他	—	—	△	
		技術者の資格	◎	◎	—	・適宜関連資格を追加し競争性を確保する。 ・専門資格（発注者支援技術者、河川管理支援士等）を重視する業務のみ特定要件に設定できる。
		業務実績	○	○	○	・業務実績は、1件以上の実績を応募要件として設定するが、業務実績を評価するため、3件の実績の提出を求め、相対評価で評価を行う。
		業務成績	—	—	—	・業務実績は、業務実績を具体的に明らかにするために業務の概要及び業務における立場と役割等を記載したレポートの提出を求めるとする。
		技術者信頼度（優良表彰）	—	—	△	
		地域精通度	—	—	△	
		手持ち業務量	△	△	—	・小規模業務等については応募要件として設定しないこともできる。
		恒常的な雇用関係	△	△	—	・業務の履行体制等が品質に大きく寄与する場合に設定できる。
企画提案書	ヒアリング	その他	△	△	△	
			◎	◎	◎	・非特定要件については応募要件を示す際に提示する。 ・ヒアリングは、原則として企画提案の評価で満点の60%以上の評価値を得た者を対象に実施。

※選定要件は応募要件と同一とする。

「◎」:必ず設定 「○」:原則設定 「△」:必要に応じて設定 「—」:原則設定しない

簡易公募型(拡大含む)プロポーザル方式の手続き



* 参加表明者が技術提案書作成に要する作業量が少ない場合かつ業務の発注予定について十分に周知徹底が図られている場合には5日程度の短縮が可能。
 ** 行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)第1条に規定する行政機関の休日を含まない。

3) 業務成績に関する要件

原則として、業務成績について、次の事項を選定要件として設定する。

業務成績は、中部地方整備局（港湾空港部を除く）発注業務で過去5年間の同種又は類似業務成績を次の順位で評価する。

なお、過去5年間の平均点が60点未満又は直近2年間連続して年平均点が60点未満の場合は選定しない。

- ① 75点以上
- ② 70点以上75点未満
- ③ 65点以上70点未満
- ④ 60点以上65点未満

※ 中部地方整備局の実績がない場合は②③と同等として評価する。
なお、直近2年間に業務成績が60点未満の業務がある場合は補正を行う。

<留意事項>

- ・ 前年度の実績が6月1日から反映されるため、それ以降に入札契約手続き運営委員会が開催される場合は、十分注意すること。

当面の間、システムが対応していないため、中部地方整備局の実績がない場合は、技術的特性に関する要件で補正を行う。(+A0.5Aを入力すること。)

○同種又は類似業務の業務成績に関する評価は以下を標準とする。

配点	選定基準
5	75点以上
3	70点以上75点未満
1	65点以上70点未満
0	60点以上65点未満

○直近2年間に業務成績が60点未満の業務がある場合は以下の補正を行う。

配点	選定基準
-10	直近2年間に業務成績が60点未満の業務が2業務以上がある
-5	直近2年間に業務成績が60点未満の業務が1業務ある